

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区 名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※ 4
北海道	はまとんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハチヨウ、 マガモ、オマガモ	コハチヨウ 800 羽、 マガモ・オマガモ 500 羽 (2 月上旬よりコハチヨウ等ハ チヨウ類が飛来し増加)	※主に渡去の中継地 例年より 1 か月ほど北上 が早いとみられている (2/14 現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 (美唄市)	マガシ 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオマガモ等ハチ類、 コハチヨウ等ハチヨウ類	無し	※主に渡去の中継地 湖面は結氷、積雪状態 (2/16 現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハチヨウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、ハチ類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など	オハチヨウ 70 羽、 オマガモ 300 羽	※主に渡去の中継地 越冬中であり、渡去はみ られない(2/16 現在)	
	とうふつこ 壽沸湖 (網走市、小清水町)	オハチヨウ、ハチ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オハシ、オシロシ	オハチヨウ 400 羽 オマガモ等ハチ類 500 羽 オシロシ 2 羽	※主に渡去の中継地 オハチヨウに渡去の始まり がみられる(2/19 現在)	釧路
	ふうれんこ 風蓮湖 (根室市、別海町)	オハチヨウ、ハチ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オハシ、オシロシ	ハシ類 600 羽 その他確認不能	※主に渡去の中継地 越冬中であり、渡去はみ られない(2/19 現在)	
	あつげし べかんべうし 厚岸・別寒辺牛・ 霧多布 (厚岸町、浜中町)	(厚岸湖側)オハチヨウ、カ モ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オハシ、オシロシ	オハチヨウ 2200 羽 オハシ 100 羽 オシロシ 10 羽	※主に渡去の中継地 越冬中であり、渡去はみ られない(2/19 現在)	
		(霧多布側)オハチヨウ、カ モ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オハシ、オシロシ	オハチヨウ 500 羽 オマガモ 100 羽 オシロシ 200 羽、ハシ類 30 羽	※主に渡去の中継地 越冬中であり、渡去はみ られない(2/19 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オハチヨウ、オマガモ、 キンクロハシロ、オシロシ	オハチヨウ 200 羽 オマガモ 800 羽 キンクロハシロ 50 羽 オシロシ 20 羽	越冬中であり、渡去はみ られない(2/16 現在)	東北
秋田県	大潟草原 (大潟村)	マガモ、マガモ等ハチ類 〈10 月上 ～ 3 月下旬〉 コハチヨウ等ハチヨウ類 ヒシイ、マガシ 〈10 月下 ～ 3 月下旬〉	マガモ 500 羽、マガモ 200 羽 コハチヨウ 200 羽、オハチヨウ 20 羽、 ヒシイ 130 羽、マガシ 20 羽	越冬中であり、渡去はみ られない(2/14 現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガシ 3 万羽 〈10 月下旬 ～ 3 月〉	マガシ、ハチ類、ハチヨウ類 約 1 万羽	越冬中であり、渡去はみ られない(2/14 現在)	

山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ、オシロイ、キンクロハシロ等カモ類 オハチヨウ、コハチヨウ ＜10月中旬～4月中旬＞	オカガモ 27,000羽 オシロイ 1800羽 キンクロハシロ 2,100羽 オハチヨウ 5,500羽 コハチヨウ 3,700羽	越冬中であるが、渡去の始まりが見られる(2/13現在)	
新潟県	佐潟 (新潟市)	コハチヨウ、オハチヨウ マガモ、コガモ等カモ類	コハチヨウ 2,800羽 マガモ 2,800羽 コガモ 1,800羽	越冬中だが、若干、渡去の始まりが見られる(2/15現在)	関東
石川県	片野鴨池 (加賀市)	カモ類 ＜9月上～4月中旬＞、マガモ ＜9月上～3月上旬＞、コハチヨウ ＜10月中旬～3月下旬＞	カモ類 1000羽 マガモ 2000羽 コハチヨウ 300羽	越冬中であるが、渡去の始まりが見られる(2/18現在)	中部
愛知県	藤前干潟 (名古屋市、飛鳥村)	スズガモ、オカガモ等カモ類 ＜10月中旬～3月上旬＞ ハマシギ 3000羽 ＜10月初旬～5月初旬＞	ヒドリガモ 100羽 オカガモ 500羽 スズガモ 600羽 ハマシギ 700羽	越冬中であるが、渡去の始まりが見られる(2/16現在)	
鳥取県・島根県	中海 (米子市、境港市、安来市、松江市、東出雲町)	カモ類 約5万羽 ＜10月中旬～4月末＞	キンクロハシロ、オシロイ、オカガモ等カモ類 2万羽	越冬中であり、渡去はみられない(2/15現在)	中国・四国
島根県	宍道湖 (松江市、出雲市、斐川町)	カモ類 約4万羽 ＜10月中旬～4月末＞	(北岸) キンクロハシロ等カモ類 1000羽	越冬中であり、渡去はみられない(2/16現在)	
福岡県	和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等カモ類 ＜10月～3月＞ ハマシギなどシギ類 ＜9月～4月＞	ヒドリガモ 5000羽 マガモ 200羽 ハマシギ 10羽	カモ類は渡去の始まりが見られる(2/16現在)	九州
宮崎県	霧島<御池> (都城市、高原町)	マガモ等カモ類 ＜10月～4月＞	ヒドリガモ 100羽、 マガモ 500羽、オカガモ 50羽 オハチヨウ 100羽、 キンクロハシロ 30羽	越冬中であり、渡去はみられない(2/16現在)	
鹿児島県	出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マナヅル等ツル類 ＜10月～3月＞ ヒドリガモ、マガモ等カモ類 ＜10月～3月＞	ナベヅル 7000羽 マナヅル 1000羽 ヒドリガモ 2800羽 マガモ 150羽 コガモ 150羽	ツル類の渡去の始まりが見られる(既に1500羽程度が渡去) (2/16現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。